

[045]都市・建築学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7162028>

出版情報：都市・建築学研究. 45, 2024-01-15. 九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門
バージョン：
権利関係：

A. 都市・建築学研究 論文投稿規定

A1. 論文投稿資格

都市・建築学部門の教職員，都市共生デザイン専攻・空間システム専攻の学生，建築学科の学生，及び教職員の紹介のあった者に限る。

A2. 論文の採否

学内外の研究者(原則2名)が，論文原稿の査読を行った後，都市・建築学部門会議において，新規性・発展性・独創性・実用性・信頼性のいずれかを判定基準として採否を決する。

A3. 論文の締め切り

採用が決定した論文の著者は，編集委員会が指定した期日までにその論文の版下原稿のPDFを編集委へ提出する。

A4. 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権は著者に帰属するものとする。ただし，九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門は，本紀要に掲載された論文の著作権のうち複製権と公衆送信権を有するものとする。

A5. インターネット上における公開

本紀要はオンラインジャーナルであり，掲載された論文は九州大学学術情報リポジトリに登録され，インターネット上で公開される。論文の執筆にあたっては，インターネット上で公開されることを前提に，個人情報等の機密情報の取り扱いに十分配慮するものとする。

B. 都市・建築学研究 論文執筆要領

B1. 論文原稿の投稿

(1) A4判の版下原稿の電子ファイル(PDF, MS Word, Indesign等)による投稿とする。

(2) 論文は和文または英文とする。

B2. 論文原稿の規格と構成

(1) 論文は刷り上がり8頁を基準とし，最大16頁までとする。

(2) 本文は2段組を原則とし，1頁は和文の本文相当で2400字(=25文字×48行×2段)とする。

(3) 論文第1頁目の構成は，論文題目，氏名，英文要旨(Abstract)，キーワード(Keywords)，本文，所属とし，第2頁以降の構成は，本文の継続，注，謝辞，参考文献等とする。

(4) 文字の種別は，和文は明朝体，英文はローマン体を原則とする。章・節の表題文字はゴシック体を原則とする。句読点のスタイルは原稿内で統一すること。

(5) 文字の大きさは，論文題目は14ポイント，氏名は12ポイント，英文要旨，キーワード，本文，所属は10ポイントとする。

(6) 論文原稿の割り付けの詳細は，別添割り付け見本による。

B3. 論文の各構成項目について

B3.1 論文題目と氏名

(1) 論文が和文の場合は，和文題目の下に英文題目，和文氏名の下行に英文氏名を記載する。

(2) 共通する主題のもとに連続する数編を執筆する場合，論文題目は個々の論文内容を表現するものとし，総主題はサブタイトルとして，その1，その2などを付す。

B3.2 英文要旨

100語程度とする。

B3.3 キーワード(Keywords)

英文キーワードを5語程度記載し，論文が和文の場合は下行に和文キーワードを記載する。

B3.4 本文

(1) 章，数式，図，表，写真には通し番号を付ける。

和文例：式(1)，式(2)，…，図1，図2，…，表1，表2，…，写真1，写真2，…

英文例：Eq. (1)，Eq. (2)，…，Fig. 1，Fig. 2，…，Table 1，Table 2，…，Photo 1，Photo 2，…

(2) 章と章との間，図・表・写真の前後は1行空白とする。

B3.5 所属

人間環境学研究院あるいは人間環境学府に所属する著者の記載は下記の例に従う。

例：都市・建築学部門，都市共生デザイン専攻修士課程，空間システム専攻博士後期課程。

上記以外に所属する著者は，所属機関が明確になるよう適切に記載する。

B3.6 注および参考文献

(1) 注および参考文献には使用順に通し番号を付けまとめて記載する。

(2) 注および参考文献の番号は引用箇所には肩付き文字注1)，注2) および1)，2)のように明記する。

(3) 参考文献の記載方法は以下のとおりとする。

論文 著者名：論文題目，誌名，Vol.，No.，掲載頁，発行年月(原則として西暦)

例 1) 都市太郎，建築花子：都市・建築学に関する研究，日本建築学会構造系論文集，No. 532，pp. 7-18，2000年6月

2) Taro Toshi and Hanako Kenchiku: Study on Architecture and Urban Design, Journal of Structural Construction Engineering, Architectural Institute of Japan, No. 532, pp. 31-38, June, 2000

単行本 著(編)者名：(題目，)書名，発行所名，発行年月

例 3) 空間 建：日本建築の美，丸善，1981年9月

4) 共生澄子：自然を映す，近代日本の美術第8巻，岩波書店，pp. 1-36，1996年2月

5) 都市京子：都市共生デザインの展望，都市太郎編「都市計画」，朝倉書店，pp. 12-36，1996年